

平成21年度
大学等地域貢献促進事業助成

応募に必要な書類及び記入上の注意事項

応募書類の作成に当たっては、記入上の注意事項に従い正確に記入してください。

応募に必要な書類

- 1 大学等地域貢献促進事業助成申請書（別記第1号様式）
- 2 計画書（別記第2号様式）（その1・その2・その3・その4・その5）
- 3 収支予算書（別記第3号様式）

提出後、研究の内容の把握等で追加の資料を提出していただくことがあります。

【お問い合わせ先】

○高等教育機関コンソーシアム事務局（和歌山大学企画総務課）
〒640-8510 和歌山市栄谷930番地
TEL：073-457-7005（直通）
FAX：073-457-7000
e-mail：kyamano@center.wakayama-u.ac.jp

計画書、収支予算書の記入上の注意事項

1 全体的注意事項

- (1) 当該分野の専門家以外にも内容がわかるよう、できるだけ平易に表現してください。
- (2) 必要書類はワープロ等を利用し、わかりやすく記入するとともに、各項目において矛盾がないかどうか確認、検算のうえ提出してください。
- (3) 提出された書類はお返ししませんので、各自控えを保管しておいてください。
- (4) 計画書、収支予算書の記入スペースが不足する場合は、別途 A 4 版の用紙を縦置きで使用して添付してください。
- (5) ワープロファイル（一太郎）の様式をご希望される方については、メールでお送りしますので、各高等教育機関担当部局またはコンソーシアム和歌山事務局（和歌山大学企画総務課）までご連絡ください。

2 計画書（その1、その2、その3、その4、その5）各欄の記入要領

- (1) 研究課題
県から提示する研究テーマから一つ選択して、応募してください。
- (2) 研究代表者
応募資格を有するのは、高等教育機関コンソーシアム和歌山に加盟する県内の大学、短期大学、高等専門学校の教員（以下「研究者」という。）です。
研究計画を遂行する組織を代表し、研究計画の遂行（研究結果の取りまとめを含む。）に関して全責任を持つ者（以下「研究代表者」という。）について記入してください。
注）教員とは、学長（学校長）、副学長、教授、准教授、講師、助教及び助手とします。
- (3) 国又は他の団体への補助金交付申請の状況
本年度に、当該研究課題について、国又は他の団体に補助金の交付を申請している場合（既に交付決定を受けている場合を含む。）には、交付申請額（及び交付決定額）と補助制度の名称を記入してください。
- (4) 助成実績
研究代表者として、本事業または「新生わかやま共同研究支援事業」により過去助成を受けたことがある場合に記入してください。
- (5) この研究課題を学会等に発表する予定の有無
有に○をした方は、発表を予定している学会、学術誌等の名称を記入してください。
- (6) 研究組織
研究代表者及び共同研究者（研究代表者と共同して研究計画の遂行に中心的役割を果たすとともに、その遂行について責任を持つ者）について記入してください。研究代表者については、役割分担の欄のみ記入してください。
共同研究者の少なくとも1名は、研究代表者の所属機関以外の県内の大学等の教員であることが必要です。この共同研究者以外は、県外の大学等教員、民間企業及び行政機関に所属する者等が共同研究者となってもかまいません。
- (7) 「研究成果の活用目標」
この事業は、大学等の連携・協力の促進と研究開発機能の活用により県経済の活性

化、地域の魅力向上、県民生活の向上、県の知名度の向上など県の活性化を図ることを目的としています。

このため、この事業の助成を受け研究を実施し、得られた研究の成果をどのように県の活性化のために活用するのか、その目標を明示していただきます。

例えば、企業化、特許の獲得、査読付き論文作成、国際会議クラスでの発表、国等補助金の獲得や企業等共同研究費の獲得、県内企業との共同研究の実施など具体的に記入してください。

なお、記入した目標については、その達成状況を助成研究の終了後3年間、毎年3月31日までに別に定める様式により報告していただくこととなります。

(8) 「研究目的」「従来の研究経過・研究成果又は準備状況等」「本県との関連について」「実施計画・方法」「研究業績」

それぞれ研究計画書の所定の欄に記載する指示に従って記入してください。

3 収支予算書各欄の記入要領

(1) 収入の部

ア 助成金

この研究の助成申請額を記入してください。

イ その他

研究することにより収益が発生する場合に、その収益額を記入してください。また、当該研究について、国及び他の団体から補助金を受けている場合には、この欄に記入してください。これら以外の収入がある場合にも、その収入額を記入してください。

(2) 支出の部

ア 助成対象とならない経費

研究の遂行及び研究結果のとりまとめに直接必要な経費を助成対象としています。したがって、次に掲げるような経費は助成対象とはなりません。

(ア) 建物等施設整備及び修繕に関する経費

(イ) 雇用関係が生じるような月極の給与、退職金、ボーナスその他各種手当

(ウ) 机、椅子等のじゅう器類を購入する経費

(エ) 外国への出張旅費及び外国で使用する経費（研究の遂行に直接必要な場合は除く）

(オ) 学会出席のための旅費（研究の遂行に直接必要な場合は除く）

(カ) 備品購入費

(キ) その他この助成金による研究に直接関連性のない経費

イ 謝金

謝金とは、研究の遂行に際し、外部講師に対する講演料、研究補助（資料整理・実験補助等）、アンケート配布・回収等の協力を得た人への謝礼に要する経費です。

内訳欄には、謝礼の対象となる労務の内容ごとに、1日又は1時間あたりの単価、人数、日数又は時間数、支払予定額を記入してください。

ウ 旅費

内訳欄には、旅行用務ごとに、用務地、支払予定額などを記入してください。旅

行用務は、調査・研究旅費、研究打合せ旅費等に区分してください。

エ 消耗品費

内訳欄には、内容のわかる物品分類ごとに、単価、個数、支払予定額などを記入してください。

オ 印刷製本費

内訳欄には、印刷物ごとに、単価、枚数、支払予定額を記入してください。
写真の現像・焼き付け・引伸料などは、まとめて記入してください。

カ その他

研究を遂行するために必要な使用料等上記以外の経費を記入してください。
内訳欄には、経費ごとに、内容、支払予定額などを記入してください。

4 その他

(1) 助成対象とする研究結果の公表

助成対象となった研究の計画書、収支予算書、研究実績書、収支決算書、研究成果報告書の要旨、研究成果報告書、研究成果活用目標達成状況報告書については、印刷物、県ホームページでの公表や研究成果発表会の開催などの広報を予定しています。

申請者

郵便番号：

学校所在地：

学校・学部名：

連絡先電話番号：

住所：

職・氏名：

e-mail：

平成 年度において、下記研究課題について大学等地域貢献促進事業の助成を受けたいので、助成金 円を交付されたく、関係書類を添えて申請します。

記

研究課題：

関係書類

- 1 計画書
- 2 収支予算書

平成 年度計画書（変更後）（その1）

研究課題					
研究代表者	学校名・学部名・職名		氏名（ふりがな）		生年月日
	最終学歴・卒業年		学位	現在の専門	
	連絡先住所	〒 学校 TEL() - FAX() -			
〒 自宅 TEL() - FAX() -					
国又は他の団体への 補助金交付申請の状況		補助制度の名称 交付申請額 千円（交付決定額 千円）			
助成実績		年度	平成 年度		
		助成金額	千円		
学会等に発表する予定の有無		有・無	発表する予定の 学会等の名称		
研究組織	氏名	所属〔学部〕・職 (現在の専門)	最終学歴 卒業年	学位	役割分担
	(研究代表者)				
	(共同研究者)				

※助成申請書に添付する場合は、「（変更後）」の部分を抹消してください。

平成 年度計画書（変更後）（その2）

研究課題	
研究の概要	(簡潔に記入して下さい。)
研究目的	(①本助成金により、何をどこまで明らかにしようとするのか。②この研究の特色や必要性、県内外の研究における本研究の位置付け、独創的な点 ③達成が見込まれる結果及び期待される効果、について焦点を絞り具体的に、2枚以内で記載して下さい。)

平成 年度計画書（変更後）（その3）

研究課題	
従来の研究経過・研究成果又は準備状況等	<p>(この研究又はこれに密接に関連した研究に関する研究経過・研究成果、または、研究に関する準備状況等について、具体的に記入して下さい。)</p>
本県との関連について	<p>(研究が本県とどのような関連を持っているのか具体的に記入してください。)</p>
研究成果の活用目標	<p>(研究成果を本県活性化のためにどう活用するのか、できるだけ具体的に記入してください。)</p>

平成 年度計画書（変更後）（その4）

研究課題	
実施計画 ・方法	<p data-bbox="335 353 1452 436">（研究目的を達成するための研究計画・方法を具体的になるべく箇条書きで記入してください。特に、共同研究者とどのように連携して実施するのかがわかるようにしてください。</p>

平成 年度計画書（変更後）（その5）

研究課題	
研究業績	<p>（最近数年間に学術誌等に発表した論文、著書のうち、本研究に関連する重要なものを選定し、研究組織欄に記入された研究者ごとに、現在から順に発表年次を過去にさかのぼって記入するなど、本研究に関連する主な学術成果又は研究成果について記入してください。</p>
研究代表者・共同研究者（所属・職・氏名）	<p>主な学術成果又は研究実績</p>

研究課題			
区 分		金 額	内 訳
収 入	助 成 金	千円	
	そ の 他		
	計		
支 出	謝 金		
	旅 費		
	消 耗 品 費		
	印 刷 製 本 費		
	そ の 他		
	計		

※助成申請書に添付する場合には、「（変更後）」の部分を抹消してください。

※支出の内訳欄には、積算根拠を記入してください。

平成21年度
大学等地域貢献促進事業助成

助成決定後の必要書類

研究成果活用目標達成状況報告書【平成 年度助成分】

(第1回報告・第2回報告・第3回報告)

研究課題					
研究代表者	学校名・学部名・職名		氏名(ふりがな)		生年月日
	連絡先住所	学校 TEL() - FAX() -			
自宅 TEL() - FAX() -					
助成年度・助成金額		年度	平成 年度		
		助成金額	千円		
研究組織	氏名	所属〔学部〕・職 (現在の専門)	最終学歴 卒業年	学位	役割分担
	(研究代表者)				
	(共同研究者)				
研究成果の活用目標		(申請時に記入した研究成果の活用目標を記入してください。)			
活用目標の達成状況		(目標の達成状況について記入してください。目標達成のために行ったこと、今後、行うことについて具体的に記入してください)			

大学等地域貢献促進事業助成変更申請書

平成 年 月 日

申請者

郵便番号：

学校所在地：

学校・学部名：

連絡先電話番号：

住所：

職・氏名：

平成 年 月 日付けで助成決定のあった平成 年度大学等地域貢献促進事業の助成については、下記のとおり変更したいので、関係書類を添えて申請します。

記

研究課題		
変更の内容	変更前	
	変更後	
変更の理由		
添付書類	1 変更計画書 2 変更収支予算書	

大学等地域貢献促進事業助成廃止申請書

平成 年 月 日

申請者

郵便番号：

学校所在地：

学校・学部名：

連絡先電話番号：

住所：

職・氏名：

平成 年 月 日付けで助成決定のあった平成 年度大学等地域貢献促進事業の助成については、下記のとおり廃止したいので、申請します。

記

研究課題		
助成決定額		円
既交付額		年 月 日交付 円 年 月 日交付 円 計 円
使用状況	支出額	円 (うち利息分 円)
	未支額	円
研究廃止の発生年月日		年 月 日
研究廃止の理由		

大学等地域貢献促進事業助成実績報告書

平成 年 月 日

申請者

郵便番号：

学校所在地：

学校・学部名：

連絡先電話番号：

住所：

職・氏名：

,

平成 年 月 日付けで助成決定のあった大学等地域貢献促進事業の助成について、その実績を関係書類を添えて報告します。

記

研究課題：

関係書類

- 1 研究実績書
- 2 収支決算書
- 3 研究成果報告書の要旨
- 4 研究成果報告書

平成 年度研究実績書（その1）

研究課題					
研究代表者	学校名・学部名・職名		氏名（ふりがな）		生年月日
	最終学歴・卒業年		学位	現在の専門	
	連絡先住所	〒 学校 TEL() - FAX() -			
〒 自宅 TEL() - FAX() -					
学会等に発表する予定の有無		有・無	発表する予定の学会等の名称		(発表予定時期)
研究組織	氏名	所属〔学部〕・職 (現在の専門)	最終学歴 卒業年	学位	役割分担
	(研究代表者)				
	(共同研究者)				

平成 年度研究実績書（その2）

研究課題	
目的	(本助成金により、何を、どこまで明らかにしようとして研究したのかがわかるように記入してください。)
実績	(本年度の研究成果を上記目的及び研究計画書記載の計画・方法に対応させて記入してください。)

平成 年度研究実績書（その3）

研究課題	
研究成果の活用目標	（申請時に記入した成果の活用目標を記入してください。）
研究成果の活用目標達成のための取り組み	（活用目標達成のために、どのような取り組みを行っていくのか、具体的に記入してください。）

平成 年度収支決算書

(単位：円)

研究課題			
区 分		金 額	内 訳
収 入	助 成 金	円	
	そ の 他		
	計		
支 出	謝 金		
	旅 費		
	消 耗 品 費		
	印 刷 製 本 費		
	そ の 他		
	計		

研究代表者
所属・職・氏名
共同研究者
所属・職・氏名

研究課題名

要旨

注) 用紙はA4版縦長横書きとし、研究成果報告書を800字程度に要約してください。

研究代表者

所属・職・氏名

共同研究者

所属・職・氏名

研究課題名

- 1 目的
- 2 実施方法
- 3 結果
- 4 その他

注) 用紙はA4版縦長横書きとし、20頁から25頁程度(約35,000字程度)とすること。(写真、図表の挿入可)